

浜松医科大学形成外科専門医研修プログラム (浜松医科大学附属病院)

1 はじめに

形成外科は、身体に生じた欠損や変形などに対し、機能的・形態的に修復し、整容的にも満足できるようにすることによって、生活の質“quality of life (QOL)”の向上を目指す外科系の専門領域の一つです。多くの外科学が病巣部を取りとることを主目的としているのに対して、形成外科学は創造する外科学という点が大きな特徴です。

本プログラムは浜松医科大学が専門研修基幹施設となりますが、県内全域にわたる専門連携関連施設があり、多彩なプログラム編成が可能です。また、形成外科全般にわたる疾患を取り扱っていますが、特に他診療科や地域の医療施設とのチーム医療に力を入れています。具体的には、乳房再建やマイクロサージャリーを含めた悪性腫瘍摘出後の再建、熱傷や外傷などで生じた組織欠損の再建手術、唇裂・口蓋裂・多指症・合指症などの先天性外表異常の治療、皮膚悪性腫瘍の治療などであり、形成外科で扱う疾患のほとんど全てを幅広く行っている点、都市部の病院にはない利点があります。



プログラムリーダー 浜松医科大学医学部附属病院形成外科 特任教授 中川 雅裕

2 目的

形成外科学領域専門医の取得を目指すとともに、専門研修プログラムは医師として必要な基本的診断能力（コアコンピテンシー）と形成外科領域の専門的能力、社会性、倫理性を備えた形成外科領域専門医の養成を目指します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松医科大学医学部附属病院

(2) 専門連携研修施設

静岡県立総合病院

静岡県立静岡がんセンター

静岡県立こども病院

静岡赤十字病院

市立島田市民病院

浜松赤十字病院

藤枝市立総合病院

浜松労災病院

磐田市立総合病院

静岡市立静岡病院

浜松医療センター

静岡済生会総合病院

聖隷沼津病院

生駒市民病院

(3) 専門連携候補（関連）施設

順天堂大学静岡病院

JA 静岡厚生連遠州病院

(4) 地域医療研修施設

富士宮市立総合病院

焼津市立総合病院

4. 専攻医受け入れ人数

7名

5. 研修期間

4年間

6. 研修計画（例）

専攻医の研修は毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。

専門研修1年目（SR1）では、一般的な医師としての基本的診察能力、および形成外科の基本的技術の習得を目標とします。さらに学会・研究会・講習会への参加を通して自発的に専門知識・技能の習得を図ります。形成外科が担当する疾患は頭から足先まで幅広く多岐にわたり、頻度が多くない疾患もあるため臨床研修だけでなく著書や論文を通読して幅広く学習する必要があります。

専門研修2年目（SR2）では、形成外科の手術を中心とした基本技能を身につけていきます。研修期間中に1)外傷、2) 先天異常、3)腫瘍、4)癒痕拘縮・ケロイド、5) 難治性潰瘍、6) 炎症・変性疾患、などのついて基本的な手術手技を習得します。

専門研修3年目（SR3）ではマイクロサージャリーやクラニオフェイシャルサージャリーなどより高度な技術を要する手術手技を習得します。また学会発表や論文作成を行うための基本知識を身につけます。

専門医4年目（SR4）では3年目までの研修事項をより深く理解し、自分自身が主体となって治療を進めていけるようにします。さらに再建外科医として他科の医師と協力の上治療する能力を身につけます。

7 問い合わせ先

申請書は

(1) 浜松医科大学形成外科のWebsite(<https://www.hama-med.ac.jp/hos=index.html>)よりダウンロード

(2) 電話での問い合わせ (053-435-2719)

(3) email での問い合わせ (nakagawa@hama-med.ac.jp) のいずれの方法でも入手可能です。